

「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」の VR動画教材「偽装サークル編」を活用した 授業について -千葉大学での実践-



「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」の VR動画教材「偽装サークル編」を活用した 授業について-千葉大学での実践-

NPO法人企業教育研究会 古谷成司

消費者庁 体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

URL:<https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/>

体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」偽装サークルURL

URL:https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/teaching_materials/video_01.html

千葉大学教育学部藤川大祐研究室ゼミ(以下、藤川ゼミ)は、学生が消費者トラブルに巻き込まれるのを防ぐため、消費者庁の体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」のVR動画教材「偽装サークル編」を活用した授業を実施しました。本記事では、授業の様子や学生の感想、教材の展開例について、授業を行ったNPO法人企業教育研究会の古谷成司氏にお伺いしました。

消費者庁教材を使った 大学生への消費者教育の取組

——自己紹介をお願いします。

NPO法人企業教育研究会の古谷成司です。千葉県で小中学校教員として25年間、その後行政機関に9年間勤務し、通算34年間教育に携わってきました。

平成15年に、千葉大学教育学部発の教育NPO法人企業教育研究会の設立に関わり、理事として企業と連携した授業開発に取り組んできました。令和3年度末に富里市立富里南小学校校長を定年より5年早く退職し、現在は、企業教育研究会の授業開発研究員として、企業と連携したキャリア教育、食育、情報モラル教育などの授業開発に邁進しています。

また並行して、千葉大学で教職を目指す学生への指導、千葉県教育庁情報モラル授業派遣講師、千葉市アントレプレナーシップ教育事務局担当等も務めています。



千葉大学で消費者教育の授業を行う古谷成司氏

——NPO法人企業教育研究会の消費者教育に関する取組について教えてください。

消費者庁 体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」の作成に協力しました。また、子どもたちが社会との関わりを実感しながら、キャッシュレス決済の技術や意義を理解し、正しく活用できるよう、キャッシュレス関連事業者と連携した学習プログラムの作成および出前授業も行っています。

消費者庁 体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」の「偽装サークル編」を使った授業展開例、教材効果を高める副教材の紹介

——消費者庁 体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」のVR動画教材「偽装サークル編」作成協力の際に意識されたことを教えてください。

教材を作成するにあたり、特に以下の2点を意識しました。

・体験学習と知識習得の連携

導入動画を視聴後、学生たちがディスカッションを行い、その内容の妥当性を場面ごとに復習動画で確認できる構成としました。これにより、能動的な学習を促し、理解を深めることを目指しました。

・専門家による解説

専門家による解説動画を設けることで、学生たちが陥りやすい心理的な落とし穴や、具体的な対処法について、より適切な知識を習得できるようにしました。

これらのポイントを踏まえ、学生たちが「偽装サークル」による勧誘の手口を疑似体験し、自ら「気づき、断り、相談する」力を養うことができるよう、教材を設計しました。

—VR教材「偽装サークル編」の指導展開例を教えてください。

指導展開例を紹介します。ぜひ参考にしてください。

取り扱う事例「偽装サークル事例」

●**題材名** 偽装サークル

●**本時の目標** ・事例を通して「偽装サークル」におけるトラブルの注意点や対処方法を理解する。
 ・トラブルに遭わないために「(気づく)どこでおかしな点に気づけばいいか」「(断る)どのように断ればいいか」「(相談する)誰に相談すればいいか」を考えることができる。

●指導展開例

時間 (45分)	主な活動	指導上の留意点	使用する教材・資料
導入 (12分)	<p>【発問①(2分)】 ○大学生が陥ることがある「偽装サークル」とはどのような消費者トラブルだろうか？ →2、3人でグループになり、話し合う。</p> <p>【活動①(7分)】 ○事例VR 動画「【VR ドラマ】楽しい学生生活だと思っていたのに…!」を視聴する。</p> <p>【発問②(3分)】 ○この事例にもし自分が遭遇したら、トラブルを回避できるだろうか？ →グループで話し合う。</p>	<p>○開始前の空き時間を利用して「あなたの心理傾向と『消費者力』をセルフチェック」を行うように伝える。</p> <p>○発問①で「偽装サークル」の知識を問い、「偽装サークル」について事例VR動画を視聴することで理解するよう促す。</p> <p>○発問②では「診断セルフチェック」を事前実施した学生にはセルフチェックの結果と照らし合わせるよう呼びかけ、自分自身はトラブル回避ができそうか否かを考えさせる。</p>	<p>・「あなたの心理傾向」と『消費者力』をセルフチェック</p> <p>・事例VR動画「【VRドラマ】楽しい学生生活だと思っていたのに…!」 動画時間6:59秒</p>
展開 (23分)	<p>【活動②(3分)】 ○動画「偽装サークル復習」を視聴する。</p> <p>【発問③(5分)】 ○合宿に誘われた場面において、どのようにすればトラブルを回避することができるだろうか？ →グループで話し合う。</p> <p>【活動③(5分)】 ○動画「偽装サークル合宿 気づく・断る・相談する」の3つの動画を視聴し、グループで動画の感想を話し合う。</p> <p>【発問④(5分)】 ○契約させられそうになる場面において、どのようにすればトラブルを回避することができるだろうか？ →グループで話し合う。</p> <p>【活動④(5分)】 ○動画「偽装サークル契約 気づく・断る・相談する」の3つの動画を視聴し、グループで動画の感想を話し合う。</p>	<p>○「偽装サークル」のトラブルに遭わないようにするためにどうすればよいかをこの後に考えていくことを予告してから 動画「偽装サークル復習」を視聴させる。</p> <p>○発問③④において、トラブルを回避する方法を「気づく」「断る」「相談する」という観点で考え、出し合うように促す。</p> <p>○グループで話し合っているときには学生の近くに行き、話の内容をつかみ、主だった学生の意見を全体の前で紹介するようにする。</p> <p>○動画は「気づく」「断る」「相談する」の順番で流すようにする。</p>	<p>・動画「偽装サークル復習」 動画時間1:36秒</p> <p>・動画「偽装サークル合宿 気づく・断る・相談する」 動画時間2:39秒</p> <p>・動画「偽装サークル契約 気づく・断る・相談する」 動画時間2:30秒</p>
まとめ (10分)	<p>【活動⑤(10分)】 ○解説動画「偽装サークルから自分を守るためには何を知っておくべきか」を視聴し、本時のまとめをする。</p>	<p>○解説動画を視聴した後、本時のまとめとして、事例を通じて考えたこと、マインドコントロール等、今後気をつけることを振り返らせる。その上で、トラブルから自分を守るために「気づく力」「断る力」「相談する力」を大事にするよう伝える。</p> <p>○大学が独自に設けている相談窓口を紹介し、心配事があったら早めに相談するよう促す。</p>	<p>・解説動画「偽装サークルから自分を守るためには何を知っておくべきか」 動画時間6:56秒</p>

・オリエンテーションが15分の場合 事例VR動画視聴 解説動画視聴の順番で進行する。
 ・オリエンテーションが30分の場合 事例VR動画視聴 動画「偽装サークル復習」視聴 発問③ 動画「偽装サークル合宿 気づく・断る・相談する」視聴 発問④ 動画「偽装サークル契約 気づく・断る・相談する」視聴 解説動画視聴の順番で進行する。

——本教材の授業効果を高める副教材を教えてください。

私が授業を行う際は消費者庁が作成している「あなたの心理傾向と『消費者力』をセルフチェック!」を実施しています。こちらのチェックシートでは、自分が契約してしまうタイプなのか、それとも断ることができるタイプなのかを自己診断することができます。自分がどのタイプなのかを知ること、消費者教育の授業への関心を高めることができると考えています。

授業の導入のタイミング、または先生がVRゴーグルの準備をしている間に、生徒に実施してもらうのも良いと思います。

あなたの心理傾向と「消費者力」をセルフチェック!

「自分は大丈夫」と思っていますか?



各項目の点数をつけて、合計点を出してみましょう。

- ・1点：ほとんど当てはまらない
- ・2点：あまり当てはまらない
- ・3点：どちらともいえない
- ・4点：やや当てはまる
- ・5点：とても当てはまる

セルフチェックで分かるあなたの心理傾向は?

ア	1	マスコミで取り上げられた商品はすぐ試したくなる	点
	2	好きな有名人が勧める商品は買いたくなってしまう	点
	3	新しいダイエット法や美容法にはすぐにとびつく	点
	4	専門家や肩書きがすごい人の意見には従ってしまう	点
	5	無料だったり返金保証があるならいろいろ試してみたい	点
アの合計			点
イ	1	資格や能力アップにはお金を惜しまない	点
	2	良いと思った券金にはすぐ応じている	点
	3	欲しいものは多少のリスクがあっても手に入れる	点
	4	どんな相手からの電話でも最後まで聞く	点
	5	試着や試飲をしたために、つい買ってしまったことがある	点
イの合計			点
ウ	1	拜まれるようにお願いされると弱い	点
	2	おだてに乗りやすい	点
	3	自信たっぷりと言われると納得してしまう	点
	4	見かけの良い人だとつい信じてしまう	点
	5	素敵な異性からの誘いだと断れない	点
ウの合計			点
総合点数 (ア+イ+ウ) =			点

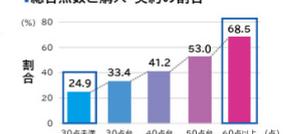
(注)消費者庁が作成した「リスクキーな心理傾向」を測るチェックシートをもとに、設問は変えず「消費者力」育成の観点から、結果について再構成したものです。

総合点数から分かるあなたの危険度

■勧誘を受けたときに契約してしまう確率

総合点数が高い人ほど特に危険！勧誘に慎重的に注意しましょう！	60点以上：約70%	↑ 高 危険度
	50点台：約50%	
「性格的には自分は被害に遭わない」と思えるような人でも4人に1人は契約！油断は禁物！	40点台：約40%	
	30点台：約30%	
	30点未満：約25%	

■総合点数と購入・契約の割合



総合点数	割合 (%)
30点未満	24.9
30点台	33.4
40点台	41.2
50点台	53.0
60点以上	68.5

ア・イ・ウの点数から見る、さらに詳しい注意ポイント

各項目群14点以上は危険!	特に注意すべきポイント	特に強化すべき「消費者力」は…
	ア 売り口上の信じすぎに要注意	気づく力 話題の商品や、限定品などに魅力を感じやすいときは、すぐに購入や契約せずに、落ち着いてゆっくり考えてみましょう。商品の実態やしくみが十分に理解できない場合は、「良い言葉」だけを信じずに、批判的に考えて見極めることも大事。その場の雰囲気や流されず、焦らず冷静に考える習慣を身につけることも大切です。
	イ 自分の欲しい衝動に要注意	断る力 ときとして好奇心旺盛で何事も経験してみたくありませんか？飛びつきたくなるようなおいしい話には「裏があるかも？」と、一度立ちどまって考えてみることも大事。少しでもおかしいと思ったら、きっぱりと断りましょう。断るときは「大丈夫です」など曖昧な言い方ではなく、きっぱりと「いいません」と伝えることが大切です。
ウ 勧誘者の信じすぎに要注意	相談する力 性格的に、もめ事が嫌いな傾向のあなたは、勧誘の違和感等に対して、見て見ぬふりをしていませんか。少しでも勧誘に違和感を感じたら、一人で抱え込まず、周りの信頼できる人に相談してみましょう。周りの人に相談しにくい場合は、外部の消費生活センターなどに相談するのもよいでしょう。	

セルフチェックの結果をもとに、「消費者力」を鍛えましょう!

(注)消費者庁が作成した「リスクキーな心理傾向」を測るチェックシートをもとに、設問は変えず「消費者力」育成の観点から、結果について再構成したものです。

あなたの心理傾向と『消費者力』をセルフチェック!

URL: <https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/upload-assets/selfcheck.pdf>

千葉大学教育学部藤川ゼミで行われた 消費者庁 体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」のVR動画教材「偽装サークル編」を使った授業実践取材

——どのような展開(授業時間含む)で実施されたのでしょうか。

60分の授業を行いました。

展開としては、P3で紹介している45分間の指導展開例を基にグループディスカッションの時間、まとめて学生が感想を発表する時間を増やし合計60分の授業として行いました。

——VR動画教材「偽装サークル」を実施した感想を教えてください。

VR動画教材『楽しい学生生活だと思っていたのに…!』(偽装サークル編)は、カルト団体やマルチ商法組織がサークルを装って大学1年生の主人公を勧誘し、セミナー合宿への参加や高額な教材の購入を迫るストーリーです。動画を視聴した学生全員が「かなりの没入感がある」と感じ、「実際にこのように相手から迫られたら、断るのは難しい」と述べており、非常に高い教育効果が期待できると実感しました。しかし、全員分のVRゴーグルを用意することは現実的に難しいため、VRゴーグルの交代を待つ時間も有効活用できるよう、授業の構成を工夫する必要があると思います。

今回はVRゴーグルを待っている間、自分のスマホを入れて使用する簡易版の紙製ゴーグルも活用しました。紙製ゴーグルを活用した学生たちも通常のVRゴーグルを使用した学生と同じようにVR動画教材の内容を十分に理解できていたため、紙製ゴーグルを使用して授業を行うことも有効であると感じています。

授業の冒頭、学生たちに「偽装サークル」について尋ねましたが、身の回りで体験した話を聞いたことがなく、知識はほとんどありませんでした。そんな中で、動画教材を視聴後、「どうすれば教材購入を避けることができるか?」という問いを投げかけ、グループディスカッションを行いました。動画教材のように迫られても「私はきっぱりと断れる」といった意見もあれば、「あのよう小部屋で説得されたら、断るのは難しい」といった様々な意見が挙がりました。教材内には、振り返り用の「復習動画」も用意されているため、そちらも活用したことで、より活発なディスカッションが行えたと思います。

そして、本題である「どうすればトラブルを回避できるか」について、「気づく」「断る」「相談する」の観点で意見を聞きました。すると、「断る」のは難しいという意見が多く、それよりも「気づく」ことで合宿への参加を避けたり、家族や友達に「相談する」ことで購入を防いだりすることができるのではないか? という意見でまとまりました。

この意見を踏まえ、授業の最後に教材内にある復習動画と専門家による「解説動画」を視聴しました。そこには、自分たちが考えたトラブル回避方法に加えて、異なる視点からの回避方法も紹介されていたため、学生たちはより深く授業の内容を理解できたことと思います。



VRゴーグルを用い、偽装サークルのVR動画を体験している学生たち。

—受講者の感想を教えてください。

【教材の感想】

- ・偽装サークルから様々な勧誘につながることは、私自身の身近な問題ではないが、社会人になった時に直面する問題かもしれないので、映像の形でも手口を知れてよかった。
- ・私の身近にはないが、サークル活動を通して勧誘されてしまう事例を具体的に知ることができた。
- ・中学、高校の授業では習わない内容であり、大学でも講義を受講しないと学ぶことができない内容だったので、非常にためになった。

【VR動画の感想】

- ・テレビやパソコンモニターで見ると違って臨場感があり、自分事に感じた。相手に笑顔で勧誘されたら引っかけかかってしまうと思った。
- ・VR動画を使った授業は初めてで、動画内の隣の人の表情や周りの視線を感じる体験ができた。恐怖心や勧誘されたときに断りにくいという圧力も感じられた。
- ・VR動画だと、部屋の狭さや周りの目線などの情報も体験でき自分事のような没入感を味わうことができた。
- ・実際に自分が勧誘されているという疑似体験ができた。
- ・教材に集中できるので、理解も深まると感じた。
- ・主観的に物事を見たり体験できたりするので、記憶にも残りやすいと感じた。

【教材で学んだことをどのように活かしていきたいですか？】

- ・自分が被害に遭わないのはもちろんのこと、家族や、後輩の間で今回の事例のようなトラブルに悩んでいる人がいれば、気づいてあげて相談に乗りたい。
- ・私が当事者になった時、おそらく騙されていると気づくことはできると思う。ただそこから、断ることができる、逃げるができるというのは難しい問題であり、私自身できないと思った。そのため、教材内で「親に相談する」「トイレに行く」など、具体的に逃げる方法、相手に言いくるめられないようにワンクッション置ける言い訳を知れてよかった。もし、自分がその立場になったときは、今回学んだ言い訳を使って逃げたいと思う。
- ・自分がまず騙されていると気づくことはもちろんのこと、友人が騙されている場合、自分がそのことに気づいてあげることも大事だと感じた。
- ・断り方、逃げる方法まで動画で知ることができたのは非常によかった。もし自分がそのような状況に陥ったとき、思い出して活用したい。
- ・自分は押しに弱いタイプなので、複数の断り方、逃げ方を学べたのはよかった。こういった勧誘は、学生時代はもちろん、社会人になっても気をつけなければいけない問題のため、しっかりと自分の中で判断できるよう、これからも消費者力を磨いていきたい。
- ・知ることが何よりも大事だと感じた。そして今回知った手口やトラブルの避け方、断り方を身近な人と共有し、気をつけていきたいと思いました。

消費者トラブル回避のために 自分に合った対策を見つけよう

——消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

大事なことは「消費者トラブルを回避すること」です。必ずしも「気づく力」「断る力」「相談する力」のすべてを身につけなければならないわけではないと考えます。自分のタイプに合わせて、この3つの力のいずれかを発揮すればよいのではないのでしょうか。例えば、「断る」ことができる人はきっぱりと断る、疑い深い人は「気づく」ことでトラブルを避ければよいでしょう。大事なのは、自分の特性を理解してトラブル回避の行動を行うことです。

さらに、こうした教材を基にディスカッションを行うことで、仲間が消費者トラブルに巻き込まれているのではないかと気づく一助となるとも考えています。「偽装サークル」の動画を活用し、その他の消費者トラブルがないかを調べたり、トラブル回避の方法を学んだりしながら、消費者力を高めていきましょう。

——ありがとうございました。

もっと知りたい方はこちら!

NPO法人企業教育研究会 公式ウェブサイト:
<https://ace-npo.org/>